



■昭和大学附属烏山病院公開講座に参加して(続編)■

昨年11月14日(土)烏山病院で公開講座と東京都精神科医療地域連携事業の講演会が開催され、1月号(No.112)で一部ご報告しました。本号ではその他の講演についてご報告します。

●デイケアと私の思い出

昭和大学精神医学講座助教 中村善文先生

中村先生は2018年11月から2021年4月までデイケア担当として勤務されておりました。デイケアプログラムの一つ、SST(Social Skills Training)のお話がありました。SSTとは、**【1】** 困難を抱える状況の総体をソーシャルスキル(社会技能)と呼ばれるコミュニケーション技術の面から捉えて、そのような技術を向上させることによって困難さを解決しようとする技法。**【2】** 認知行動療法の1つに位置づけられている。**【3】** 慢性精神障害に対応した治療技法として開発されたもので発達障害に特化したものではない。

実際には参加者が円形に座り、生活上の困ったことなど一つ選び、代表となる者がロールプレイを行います。それを見ていた参加者は良かった点と改善点を述べるという正のフィードバックを行います。提案された改善点を踏まえてもう一度ロールプレイを行います。さらに良かった点を指摘し、テーマに関係した宿題を各自が設定して次回までに実行を目指します。

中村先生はSSTに参加してよかったこと・気づきとして以下のことを挙げています。**【1】** どんな小さなことでも人の長所を見つけることを学びやすい。**【2】** 経験を積むことや場数を踏むことが大切だと思った。**【3】** 人の意見を聞くことで様々な可能性や多方向からの視点で考えることを行いやすい。**【4】** 宿題があることでその日の内容を振り返りやすい。**【4】** 宿題のテーマもその日の内容を元に自分で考えるので取り組みやすい。

次に就労準備プログラムのお話がありました。プログラム内容としては、挨拶、会話、非言語コミュニケーション、意思表示、社会資源の紹介、求人票のみかた、履歴書・職務経歴書作成、面接練習・合理的配慮・自己PR、就労支援機関との合同プログラム等があるそうです。

理想は“就労パスポート”の記載ができること。就労パスポートは、職場定着に向けて、働く上での自分の特徴やアピールポイント、希望する配慮などについて、支援機関と一緒に整理し、事業主などに分かりやすく伝えるためのツールです。就労経験、仕事上のアピールポイント、体調管理と希望する働き方、コミュニケーション面、作業遂行面を記載していきます。

就労パスポートのメリットとして、自分だけでは気づけなかった特徴を把握でき、それによって自分の特徴をより理解することができます。また支援者に自分の特徴を理解してもらい、自分に合った支援を受けやすくなります。但し本人がどう使うかをよく考えて使用することがポイントになるそうです。



●学校生活における精神疾患と発達障害

東京大学教授(健康教育学) 佐々木司先生

精神疾患の発症は10代が多いこと、発達障害も高学年になったり進学して気づかれることがあり、対応が遅れるほど孤立・不登校・成績低下等につながることで、適切な対応をとるための学校での精神疾患教育や保護者に対する啓発等のお話がありました。(K.S)



■【Book Review】いきすぎた清潔感や秩序から生まれるものは

～「健康的で清潔で、道徳的な秩序ある社会の不自由さについて」を読んで～

「発達障害という言葉は今でこそ知れ渡っているけれど、昔はどうだったのか」
「昭和の時代には発達障害と診断されるような人があちこちにいたけれど、今の違いは何なのか」

そんな疑問を抱いたことのある人に特に薦めたいのが『健康的で清潔で、道徳的な秩序ある社会の不自由さについて』(熊代亨著 イースト・プレス)です。

本書は七章から成り立ち、

- ・第一章 快適な社会の新たな不自由
- ・第二章 精神医療とマネジメントを望む社会
- ・第三章 健康という”普遍的価値”
- ・第四章 リスクとしての子育て、少子化という帰結
- ・第五章 秩序としての清潔
- ・第六章 アーキテクチャとコミュニケーション
- ・第七章 資本主義、個人主義、社会契約



とテーマは幅広く、社会、子育て、健康等。昭和と現在を比べ、そこから浮かび上がる「生きづらさ」や「しんどさ」——。簡単には解決できない問題の数々を、精神科医でもある著者がさまざまな文献やデータを分析し、丁寧に綴っています。

冒頭の疑問「発達障害が目立つようになった理由」ですが結論から申しますと、本書のタイトル「健康的で清潔で、道徳的な秩序ある社会」になったからだと著者は読み解いています。現在における「健康的で清潔で、道徳的な秩序ある社会」に求められる人としてのクオリティの高さ。それはコミュニケーション能力であったり、落ち着いて何事もテキパキとこなす技量であったり、秩序からはみださない振る舞いだったり。

その枠組みに収まらなかった人を説明づける概念として現在、発達障害がパズルのピースのように社会にはまったといいます。

では過去、昭和の時代はどうだったのでしょうか。

昭和の頃を思い出すと、街は今より雑然としていたように感じます。あちこちに騒音があり、怒鳴り合いや喧嘩もよく見かけました。今でこそニュースに取り上げられることは日常茶飯事で、それが当たり前だった時代。

ですが見方を変えると人々は迷惑やリスクに鈍感で、誰にとっても居場所のある社会だったのではないのでしょうか。頑固で気難しい人や融通の利かない人、気の利かない人も、煙たがられることはあっても社会からはじかれることはなく、そういった人にも適した職業が昭和には残っていたと、著書はいいます。

現在に暮らす者にとって、およそ受け入れがたい昭和の時代。けれども「誰もが受け入れら

れた社会」として見ると、今より生きやすく、優しい社会だった、と言えるのではないのでしょうか。

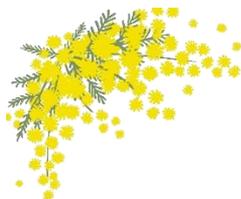
「健康的で清潔で、道徳的な秩序ある社会」
になったことで私たちは、
「より敏感に、より不安に、より不寛容」
になってはいないか。



本書を読むと、いきすぎた清潔感や秩序からなる社会が奇妙な方向に走り出していることがわかります。安心安全すべてが行き過ぎることで、発達障害が浮かび上がる社会になったというのなら、なんともやりきれない話です。

各章には印象的な言葉が多くあり、健康については「健康は人生の手段ではなく、人生の目的になっている」と説き、育児には『親はなくとも子は育つ』ということわざは死語になって久しい」と書き綴る。

そして「もう私たちは発達障害を知らなかった頃の社会には戻れない」という著者の言葉。それらの言葉が気になる人は本書を是非、手に取ってみてください。(R. I)



「烏山東風の会女子会」のご案内

女子会は当事者と関わる母親を中心とした、おしゃべり会です。困りごとや将来への不安等、話すことで別の見方ができたり、自分の気持ちに気付いたり、他の人の話から知恵をもらったり…。今の気持ちを話す、外に出すことは親自身にも大切なことです。

世話人の私たちは専門家ではなく、医学的なこと、専門的なことはお答えできません。けれども母親同士だからこそ、不安や悩みをわかり合えると思っています。

女子会への参加申し込み、お待ちしております。

■ 烏山東風の会女子会 5月27日(土) 午後1時30分～午後4時
烏山病院 リハビリテーションセンター

■ 申し込みは下記より

烏山東風の会携帯 080-3009-1200 kochinokai@au.com

烏山東風の会ホームページ/お問い合わせコーナー <https://www.kochinokai.com/>

■ 参加当日はコロナクラスターが発生した際の対策のため、お名前、電話番号等の連絡先の記載をお願いしております

※申し込み期限は開催日の前日まで

※コロナの感染状況により開催を中止する場合があります、随時HPでお知らせします



(2023年3月時点の対応です)



■「烏山東風の会」今後のスケジュール ■

■講演会「家族は家族である前に自らの人生の主人公」

～発達障がいがある本人や家族との追体験を通して～

講師：青木 聖久氏 日本福祉大学教授/博士(社会福祉学)/精神保健福祉士

日時：4月22日(土) 受付13:30 講演14:00～16:00

会場：昭和大学附属烏山病院リハビリテーションセンター

※聴講申し込みは下記にお願いします。



■家族相談会 4月19日(水) 5月17日(水) 午後1時30分～午後4時

烏山病院 発達障害医療研究所ダイルーム

専門家ではありませんが、同じ親の立場として家族会世話人がお話をお伺いします。

■世話人会 4月22日(土) 午前11時～/午後講演会 5月27日(土) 午後1時半から

会員の方の見学、ご参加をお待ちしています。

◇講演会/相談会/女子会/世話人会の申し込み・お問合せ先

：「烏山東風の会」携帯 080-3009-1200 kochinokai@au.com

：「烏山東風の会」ホームページ：<https://www.kochinokai.com> お問合わせコーナー



■ 会費振込のお願い ■

この会報誌は「烏山東風の会」に入会している方にお配りしています。4月より新しい年度になりますので、新年度の会費につきまして1年分6000円、または半年分3000円を、以下のいずれかの銀行口座にお振り込みいただくようお願い申し上げます。

① 三菱UFJ銀行 永福町支店 (普) 0106550

「烏山東風の会 会計 黒田邦夫」

② ゆうちょ銀行 記号・番号：10000-29576521 「烏山東風の会」

お問い合わせ：黒田邦夫 090-4173-7604



テイケア写真館

【火曜日 昼プロについて】

・運営；スタッフ1名 ・時間；12:30～13:30 ・内容；遊びな会,まじめな会,アートな会

【参加してみて】

・遊びな会ではサイコロトークなどをしました。

・まじめな会では実際に生活するうえで必優な自転車の交通ルールや社会資源など、今の自分達に必要なことを学ぶことができました。

・アートな会ではコラージュ(雑誌を自由に切って紙に自由に貼ることで完成させるアート作品)をしました。最近は蝶々を作ったりしました。

【参加した印象】

・プログラム立ち上げの段階からどういうプログラムにしたいかなど、参加型プログラムであることがうれしいです。

【プログラム参加の姿勢】

・プログラムで私が参加するスタンスを記入します。プログラムの冒頭でテーマトークがありますが、自ら考えたことを発言するので責任感を持って話題を選ぶ様に気を付けたいと思います。また、考えることをやめないで積極的に参加していきたいです。

